

納めた国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です

国民年金保険料は所得税法および地方税法上、健康保険や厚生年金など社会保険料を納めた場合と同様に、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

控除の対象となるのは、令和7年1月から令和7年12月までに納められた保険料の全額です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

また、ご自身の保険料だけでなく、ご家族（配偶者やお子様等）の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

このため、令和7年1月1日から令和7年9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方は、11月上旬に日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証

明書」が送られていますので、確定申告の際に使用してください。（令和7年12月31日までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納められた方へは、2月上旬に送られます。）

年10月1日から令和7年

12月31日までの間に、今

年はじめて国民年金保険

料を納められた方へは、

用してください。（令和7年

12月31日までの間に、今

年はじめて国民年金保険

料を納められた方へは、

用imately。

3月定期募集のご案内

●**入居可能日**
当選後、入居資格審査の結果、承認され次第個別に案内します。

●**所在地・間取り・募集戸数・家賃**

●**入居資格**
県住宅供給公社ホームページ(<https://www.gunma-jk.or.jp/>)をご覧ください。

●**申込み期間**
現在住宅に困っている方、世帯の収入が一定の金額以下であることなど

●**申込み方法**
※詳しくは申込案内書または申込案内書ホームページをご覧ください。

●**申込み期間**
※単身での申込みができる

●**申込み方法**
※詳しくは申込案内書または郵送により県住宅供給公社へ提出

●**申込み方法**
所定の申込書を電子メールまたは郵送により県住宅供給公社へ提出

●**申込み方法**
入居者は公開抽選で選定します。

●**その他**
※随時申込みを受け付けています。団地もあります。詳しく述べるお問い合わせください。

職員募集 吾妻東部衛生センター会計年度任用職員

●**募集人員**

1名

●**雇用期間**

令和8年4月1日～令和9年3月31日

●**必要資格**

自動車運転免許証(中型免許(8t限定含む)

●**勤務地**

吾妻東部衛生センターおよび指定最終処分場往復

●**勤務時間**

8時30分～17時15分

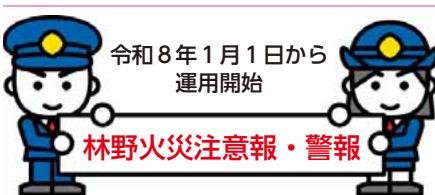
※週4日勤務(土日祝日、年末年始は休日)

●**業務内容**

焼却灰等残渣運搬・ごみ搬入車両の交通整理等

《お問い合わせ先》 吾妻東部衛生施設組合管理課(吾妻東部衛生センター内) ☎0279-75-2099

※職員募集の応募用紙は、組合ホームページからもダウンロードできます。



近年の国内における大規模な林野火災は吾妻地域でも例外ではありません。このような状況から従来の火災警報に加えて『林野火災注意報・林野火災警報』が火災予防条例に追加されました。

火災警報とは

火災が発生しやすい気象条件になった際、火災の発生を未然に防ぐために発令します。『林野火災注意報・林野火災警報』は林野火災の発生を防ぐために新設されました。

発令時の制限事項は同じですが、発令の条件が異なります。



お知らせ方法

1 注意報が発令された場合は、吾妻広域消防本部ホームページ「TOPICS」に掲載

2 警報が発令された場合は、上記のお知らせに加え、防災無線による放送、消防車による巡回広報

《お問い合わせ先》

吾妻広域消防本部 東部消防署 中之条分署 ☎0279-75-4119

発令時の制限事項

注意報が発令されると、次の事項について**努力義務**が課せられます。

- 1 山林、原野等に火入れをしないこと
- 2 花火を行わないこと
- 3 屋外で火遊びややたき火をしないこと
- 4 屋外で引火性や爆発性のある可燃物の付近で喫煙しないこと

5 山林、原野等で喫煙をしないこと

6 残火(たばこの吸殻を含む)、取灰または火の粉の始末をすること

※さらに危険な状況になり警報が発令された場合には上記について**義務**が課せられます。(罰則あり)

カーボンニュートラル通信(2月号) お風呂の省エネ

2月は1年の中でも特に寒く、暖房やお湯の使用が増える時期です。だからこそ、日々の使い方を少し工夫することで、無理なく光熱費を抑えることができます。入浴は、できるだけ間隔をあけずに入りましょう。お湯を2時間放置すると、約4.5℃温度が下がってしまいます。

【ガスを使用している場合】

入浴の間隔をあけずに入ることで追い焚きの回数を減らすことができ、年間約6,190円のガス代の節約につながります。

また、シャワーは不必要に流したままにしないことが大切です。シャワーの使用時間を1分短縮するだけで、ガス代約2,070円、水道代約1,140円を節約でき、年間で合計約3,210円の節約が見込まれます。

シャワーで使われるお湯の量は意外に多く、1分間で約12Lのお湯が流れます。家族4人がそれぞれ4分ずつシャワーを使うと、浴槽1杯分とほぼ同じ量になります。寒い時期こそ、ちょっとした心がけで省エネと節約を心がけましょう。

出典：資源エネルギー庁



《お問い合わせ先》 高山村カーボンニュートラル推進協議会(事務局：地域振興課)
☎0279-63-2111(内線21)

2月の星空

○星図の説明

2月15日(日)午後8時の高山村の星空。
月初めの午後9時頃、月末の午後7時頃にも同じ星空になります。(「月」を除く)

2月10日(火)まで、天文台ボランティア(星ボラ)を募集しています。高山村の美しい星空の魅力を、一緒に伝えませんか。村民の皆さまのご応募をお待ちしております。

※登録に際し養成講座(2回)を受講していただきます。

第1回：2月28日(土) 第2回：3月7日(土)

1日 月を見よう

10日 星ボラ養成講座申込み締め切り

27日 たかやま星空観望会in天文台

※高山村教育委員会へお申込みください。



※詳細は、ぐんま天文台HPをご覧ください。





さとのわ通信 Vol.11

さとのわフードファクトリー

■ ルバーブジャムと8大アレルゲンフリーのパウンドケーキを開発しました

ルバーブジャム

高山村産ルバーブを使ったジャム。ルバーブならではの食感や酸味、フルーティーな香りを活かすため、砂糖の量や煮詰め方を調整しながら、丁寧に仕上げました。

ヨーグルトやトーストにも合わせやすい、自然な甘酸っぱさが特徴です。



●ルバーブとは

見た目はフキのようですが、味はすっぱい野菜で、主に食べる時は茎の部分。ジャムやお菓子に使われることが多い食材です。



フルーツパウンドケーキ

オレンジをベースにした米粉の生地に、スパイスでやさしくコンポートした規格外のりんごをのせました。卵・乳・小麦・バターを使わず、食感や素材の風味を大切にしながら、ほっとする甘さと、ほんのり広がる柑橘の香りを楽しめるお菓子に仕上げました。ちょっとした手土産にもおすすめです。



試作すること
何十回。
やっとの思いで
完成しました。

さとのわラウンジ

■ 12/21 「カップケーキデコレーション体験」を実施

カラフルなクリーム、お菓子のトッピングなどで皆さんの個性が光るケーキが出来上がり、楽しいひとときとなりました。今後も定期的に、家族連れて楽しめるイベントを企画していきます。

子どもたちの思い出づくりの一助となればと思いますのでぜひご参加ください！
(Instagramや店頭にてお知らせしますのでお楽しみに！)



▼さとのわの
Instagramは
こちらの
2次元コードより
ご覧になれます



《お問い合わせ先》 たかやま未来センターさとのわ ☎0279-25-8833



12/13

秋の交流会を開催しました

毎年恒例となっている、移住者と地域住民との交流イベントを開催しました。

当日は大人34名、子ども15名が参加され、世代を超えたにぎやかな交流の場となりました。

会場では地元の方を講師に迎え、正月飾りづくりや子ども向けのクリスマス飾りづくりのワークショップを実施しました。作業しながら地元の話を伺うことができ、地域に関して学ぶ良い機会となりました。

また、新米や村のお母さん方の手料理を囲みながらの交流では、初対面同士でも自然と会話が弾み、移住して間もない方が、地域の方々と直接言葉を交わす貴重な時間となりました。

移住希望者から多く聞かれる「地域に馴染めるか」「受け入れてもらえるか」という不安に対し、こうした顔の見える交流の積み重ねが、安心につながることを改めて感じる機会となりました。また本年も開催予定ですので、ぜひお気軽に足を運んでいただければ幸いです。



こちら地域おこし協力隊。



木暮 隆



今夏から、漬物用の高山きゅうりの共同出荷を新たに始め、都内スーパーへの有機農産物の共同出荷や、産直ECサイト「ポケットマルシェ」への出品も始め、生産者同士

が力を合わせることで、安定した出荷体制づくりが進んでいます。今後も連携を深め、高山村の農産物の魅力をより多くの方へ届けていきます。



鈴木 裕也



高山にも雪が降り本格的な冬が到来しました。早朝の凍てつく寒さの中、牛舎に入ると、元気に牛たちが出迎えてくれます。寒さに負けずに頑張っている“同僚たち”的姿を見ると、こちらも寒いなどとは言ってはいられないなど感じます。今後も元気をもらいながら研修していきたいと思います。

